

コンクリート面及びALCパネル面

7章9節:つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP-G) 水性ビルデック艶有 (ヤニ止め仕様)

公共仕様No.
DNT-改修・9-2-11

使用材料一覧表

規格 一般名称	商品名	ホルムアルデヒド 放散等級	希釈剤
1 JIS K 5663 合成樹脂エマルジョンシーラー	水性マイティーシーラーマルチ	F☆☆☆☆	—
2 JIS K 5660 つや有合成樹脂エマルジョンペイント	水性ビルデック艶有	F☆☆☆☆	水道水

塗装仕様

表7.2.5 コンクリート面及びALCパネル面の下地調整【RA種】

工程	塗料その他			面の処理
	規格番号	規格名称	種類	
1 既存塗膜の除去	—			ディスクサンダー、スクレーパー等により、全面除去する。
2 汚れ、付着物除去	—			素地を傷付けないようにワイヤーブラシ等により、除去する。
3 ひび割れ部の補修	—			特記による。
4 下地調整塗り	JIS A 6916	建築用下地調整塗材	C-1又はC-2	全面に塗り付けて平滑にする。
5 研磨紙ざり	研磨紙P120～220			乾燥後、表面を平らに研磨する。
6 パテしごき	JIS A 6916	建築用下地調整塗材	C-1	全面にパテをしごき取り平滑にする。
	JIS K 5669	合成樹脂エマルジョンパテ	耐水形	
7 研磨紙ざり	研磨紙P120～220			乾燥後、全面を平らに研磨する。

- (注) 1.ALCパネル面の場合は、工程4の前に合成樹脂エマルジョンシーラーを全面に塗付ける。
2.合成樹脂エマルジョンパテは、外部に用いない。
3.工程4の建築用下地調整塗材のC-1、C-2の使い分けは、4.6.4[既存コンクリート打放し仕上げ外壁、既存モルタル塗り仕上げ外壁等の下地調整](1)及び(3)による。
4.新規に塗装を行う場合は、RA種とし、工程1に代えて素地を十分乾燥させて、工程3を省略する。

表7.9.1 コンクリート面及びALCパネル面つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り【A種】

工程	商品名	色相	混合比率 (重量比)	希釈率(%) (重量比)	塗装方法	塗付け量 (kg/m ² /回)	塗装間隔 (20℃)
1 下塗り	水性マイティーシーラーマルチ	透明なブルークリヤー	—	無希釈	刷毛	0.07	2時間以上 1ヶ月以内
					ローラー		
2 中塗り (1回目)	水性ビルデック艶有	各色	—	5～15	刷毛	0.10	3時間以上
				10～20	ローラー		
3 研磨紙ざり	研磨紙P220～240						清掃後
4 中塗り (2回目)	水性ビルデック艶有	各色	—	5～15	刷毛	0.10	3時間以上
				10～20	ローラー		
5 上塗り	水性ビルデック艶有	各色	—	5～15	刷毛	0.10	—
				10～20	ローラー		

- (注) 1.新規に塗る場合は、A種又はB種とする。
2.押出成形セメント板面の下地調整は、表7.2.6によるRB種又はRC種とする。
7.2.6 コンクリート面及びALCパネル面の下地調整
コンクリート面及びALCパネル面の下地調整は、表7.2.5により、種別は特記による。
特記がなければ、RB種とする。
7.9.2 コンクリート面及びALCパネル面つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り
(a)つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗りは表7.9.1により、種別は特記による。特記がなければB種とする。
なお、天井面等の見上げ部分は、工程3を省略する。
(b)塗替えの場合のしみ止めは、特記による。特記がなければ、種別がB種及びC種の場合は、工程1の下塗りをしみ止めシーラーとする。
なお、しみ止めシーラーは、塗料製造所の指定するものとする。

注意事項

- * 上記塗付け量は国土交通省 公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)平成28年版に掲載されている数値です。
そのため実際の塗付け量は被塗物の形状や、塗装方法、環境によって増減することがあります。
* 商品の詳細、塗装上の注意事項につきましては、カタログ、単品説明書などを参照ください。